

# 求める会ニューズ No. 989

## 7月全体会報告

7月21日(水) 10:30~12:30

### 【検討事項】

#### 1、会の今後について

##### ・残金の処理について

特別会計は現在高約700万円。共同購入会計に200万円、「ゆうきすと」作成に50万円必要。貸し付金返済は1月に終了予定で残金は400万円前後となる。

主な案：学生青年センターにカンパ。志を同じくする運動団体に支援金のカンパ。りんごの小松さん訪問の旅費。今年の天候異変を考慮しての予備費などの意見が出たが、求める会終了後は残金を残さないことに意見がまとまった。残金の使い方について、他にご意見があればお寄せください。

#### 2、あしの会との話し合いについて (7/9)

求める会取り扱いの商品を扱ってもらえるか、値段など細かいことも話し合った。りんご、みかん、豚肉、米、調味料など今まで通り扱ってもらえそう。お米は年間注文。野菜の一色さんは宅配、橋本さんはあしの会配送。卵など細かいことはまた話し合う。

#### 3、兵庫県有機農業研究会改め「西日本アグロエコロジー協会」への団体会員継続について (会費：団体会員17,000円)

現在、求める会は団体会員となっているが今後はいかに支えるか考えたい。

### 【報告事項】

#### ① 活動部各担当から

##### 【生産者担当】

\*野菜：今夏前半は長雨で冷夏だった。玉葱などは半分腐り、ぬれたり蒸れたりし、皮をむいたものも配送した。出荷時間によって傷みが多くなった。

・トマト、ミニトマトは豊作で、5キロ箱の追加注文は事務所まで。キュウリはほぼ終わりになってきた。再度種を撒くが次回はそんなにできません。ピーマン、ナス、オクラ、ズッキーニがあり、ズッキーニは間もなく終わり。モロヘイヤ、もっと気温があがればゴーヤもできます。カボチャは雨でやられた(一色さん)。橋本さんはまだこれからとのこと。

\*卵：産卵が減っています。

\*米：今年から年間注文になります。田植えを終え除草に追われる毎日です。高木さんは年齢的なこともあり、最盛期の半量の作付。今後は池野さんが量を徐々に増やしていく意向です。

\*果物：りんごの注文をとります。配送は宅配のみとします。

【会員担当】 会員数186名

##### 【事業部担当】

全体会後の即売をします。希望の品があれば言って下さい。

【広報】 印刷は7月28日(水)

【会計担当】 購入品の代金、交通費の請求を忘れないようにお願いします。

##### 【渉外担当】

・ビレッジライフ懇話会 (7/24)

「福祉施設における有機農業の取り組み—意義と成果—」

陽だまり農園(神戸市)の西村英二氏、竹岡真弓氏。

・西日本アグロエコロジー協会臨時総会 (8/21、13:00~16:30)

挨拶・設立講演：池上甲一氏、橋本慎司氏、平賀緑氏 会場：神戸市立婦人会館 (JR神戸駅北) 要申し込み：飛田まで。

オンラインあり、要申し込み、無料

\*8月の全体会はお休みです。

食料環境セミナー報告

2021年6月23日(水) 14:00~16:00

「新型コロナのワクチン、  
接種しますか？」

元朝日新聞論説委員 岡田 幹治 さん

新型コロナワクチンの接種は本当に有効なものなのか。

新型コロナは少しタチの悪い季節性の風邪であってほとんどの人が免疫の力で対抗できる。免疫の力を維持するには

- ・腸内細菌を豊かにするような食生活。
- ・適度に体を動かし血液循環を良くする。
- ・十分な睡眠で昼間の疲労を回復する。
- ・ストレスをためない。自粛は逆効果になる？

新型コロナウイルスとインフルエンザを比較しても国民の生命に与える影響はほぼ同じなのに、政府は何度も緊急事態だと言う。

新型コロナのことが色々分かってきた今も、感染したら助からない感染症扱いをして、医療が逼迫しているから自粛をお願いされる。

インフルエンザなみの扱いにすれば医療は逼迫しないのではないだろうか？

PCR検査にも問題があるらしい。感染者を正しく陽性とする確率は70%、非感染者を正しく陰性とする確率は99%。検査数を増やせば多くの非感染者が陽性と判断され、医療の逼迫にも繋がってしまう。本来、診察は問診→診察→検査(血液検査・胸部CTなど)を実施し、疑いが濃い患者にPCRや簡易抗原検査で確定診断をすべきだ。

報道では無症状の人が感染を広めるとしてPCRをもっと実施すべきだと言っていたがどうなんだろう。経済より命が大事かもしれないが、命を支えているのは経済だということも忘れてはならない。

ほとんど重症化しない子どもたちも心配だ。マスク生活は子どもたちが免疫を学習するチャンスを奪っている。マスクに予防効果はないという考え方もあるよ

うだ。

普通の生活に戻る切り札はワクチン接種だと言われているが、ワクチンには懸念されることも多い。

新型コロナワクチンは臨床試験中のワクチンであって、決して安全が保証されているものではないこと。既に接種後に196人の死亡者が出ているが、厚労省は因果関係は評価不能としている。なぜ詳しく調べないのだろうか。イスラエルはワクチン接種が進んだから感染者が減ったと言われているが、本当にそうだろうか？感染者は永久に増え続けることなくピークを越えると自然に減少するものだ。またワクチン接種が進むと、そのワクチンに強い変異株が生まれる。

遺伝子ワクチンは脾臓に集まり体調不良を起こしたり、免疫性血小板減少を起こす可能性がある。また自己免疫病を起こす可能性もある。

今、子どもたちは多くのワクチンを接種しているが、ワクチン接種は感染症の発生は抑えられるが、アレルギー性鼻炎・貧血・喘息・胃腸炎などは増えているという研究も報告されている。

岡田さんのお話で、ワクチンの問題点などよく分かりましたが、日本の現状を考えると、自粛してマスク生活をしたことで感染が少なく抑えられているのも事実だと思います。はじめの一年に自粛をしていなかったら日本は大変なことになっていたと思うのです。

色々なことが分かって、治療法や薬など少し先が見えるようになった今、そろそろ普通の生活に戻るべきではないでしょうか。ワクチン接種をしない選択も認めながら、重症化を防ぐために高齢者である私は接種することを選択しました。

若者たち、特に子どもたちはワクチン接種を避けた方がいいと考えます。接種するリスクのほうがしないリスクよりはるかに大きいと思うからです。

(松浜 G 東山 真紀子)

## 大豆の種まきイベントに参加して



今年、大豆畑トラストに初参加のベテラン生産者、兵庫県市川町の牛尾さんの畑での大豆の播種に、猪飼さんと私の2人が求める会の会員として参加しました。

なんとといっても、綺麗に畝立てされた真っ直ぐな畝。さすがベテランの生産者。昨年までの畑と様子が随分違って、驚きました。

最初に今日の作業手順の説明を受けました。

畝の端から7~8センチくらいのところに、バットで穴を開ける。そこに2粒の大豆を播種する。30センチ刻みにその作業をする。播種した上に優しく土寄せする。

その後、家族単位で作業スタート。初めての方も多く、コロナウィルスの感染拡大で、いろいろなイベントがなくなる中、自然との触れ合いや食や農への関心の深まりが参加者増につながったのかもしれない。子どもたちも大きな戦力になりました。

自家採取された青大豆と白大豆を丁寧に植えました。(写真は大豆の播種をする牛尾さん)

作業はスムーズにすすみ、10アール強の畑の播種は1時間ほどで終了しました。屈み込む作業がほとんどなかったので、腰も痛まず。

大切にされている畑の播種を、素人？に預けて心配では？とお聞きしました。「種は強い」の一言でした。絶対の信頼を、自家採取

の種に寄せられていると思いました。帰りに自宅での播種用にと白大豆をいただきました。今プランターで育てています。秋がとても楽しみです。

畑の横を流れる綺麗な水。小さな、小さな雨蛙に子どもたちは夢中でした。

強い日差しもなく、自然との触れ合いがいっぱいの半日でした。

(東仲ノ町G、学習・研究担当 六渡 和香子)



## 「あしの会」との話し合い

7月9日、「あしの会」の奥谷さんご夫妻と、求める会の飛田、岩本が事務的な事から話し合いを持ちました。求める会の取り扱い物品や仕入れ値などを伝えました。

そのなかで、お米については、池野さんのお米も「あしの会」で取り扱ってほしい旨、お伝えしました。高木さんが高齢で、作付けを減らしていきたい意向である一方、池野さんは、有機米の生産を増やしていきたい、「あしの会」で事務的なことをやってもらえればありがたい、とのこと。年間注文となり、価格は話し合って決めます。

「あしの会」で引き続き取り扱ってもらえる物品については、一覧表を5月に配布しましたが、分からない点がありましたら、事務局までお寄せください。今後ニュースで「(問)(答え)」方式で、お知らせしていく予定です。

暑い中、配送ありがとうございます！



## 8月のカレンダー



8月11日（水）部会  
8月20日（金）自動引き落とし日  
共同購入申込締切日

### （兵庫県有機農業研究会改め） 西日本アグロエコロジー協会 臨時総会のご案内

日時：8月21日（土）13：00～16：30  
会場：神戸市立婦人会館（JR神戸駅北5分）  
挨拶・設立講演：  
池上甲一氏、橋本慎司氏、平賀緑氏  
・オンライン参加もあり。無料  
参加希望（オンラインも）の方は、  
8/14までに飛田まで（078-854-1369）

## 2021年度産米の注文について

求める会が来年3月に終了しますので、今年度から年間注文を取ります。  
生産者は池野さん、高木さん、橋本さん（豊岡、1月のみ）です。あしの会の扱いになり、配送方法は今までと同じです。

## りんごの注文について



りんごを注文する時期になりました。4月に霜があったためつがる、秋映が少なくなっています。  
共同購入は2月に終了しますので（3月引落し）、フジは追加注文を取らず、2月分の注文を増やしています。  
たくさん注文をお待ちしています。

## 求める会終了後の物品の購入について Q & A

Q1：あしの会のカタログがない場合、ネットで注文できるそうですが、いつもの配達で届きますか？

A：ふだん配達していない所にも宅配で届きますが、その時は宅配の料金がかかります。

Q2：牛肉・豚肉は今まで通りたいのですが、数量の変更などは生産者に直接連絡するのですか？

A：あしの会に連絡することになります。

Q3：大久保より西のグループはあしの会の配送がなくなるので、大徳醤油さんに直接注文することはできますか？

A：できます。本数がまとまれば（5000円以上）送料無料になります。求める会価格にして頂けます。

Q4：現在野菜は取っておらず、卵のみ購入している。求める会終了後もできることなら足立さんの卵を取りたい。一人グループなので10個ぐらいしか購入できないが、大量でなくてもあしの会を通して足立さんの卵を取ることはできますか？

A：あしの会で足立さんの卵も扱うことになるので、「足立さんの卵」と注文すれば、購入できます。ただし卵のみ配送の人は、コースなどを見て調整、相談になります。また月額15000円未満の購入の場合は配送協力金（一回220円）が必要になります。

Q5：野菜の生産者を途中で変えることはできますか？

A：できますが、変更や苦情は直接生産者に伝えてください。

※疑問がある方は、5月1日付の「求める会終了後の、安全な食べ物を求める方法について」（薄緑色の紙）を参照の上、事務所までお問い合わせください。（火・金 10：00～15：00）